

WTW-3R85

## 取扱説明書

株式会社 塚本無線

三重県鈴鹿市磯山1丁目16-21

TEL:059-387-8000 FAX:059-387-6999

### 安全上の注意

#### 警告

煙が出た時、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
 いてください。そのまま使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
 落としたり、キヤベットの破損した場合は、すぐにコンセントを抜いてください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

修理・改造・分解しないこと  
 ●修理・改造・分解しないこと。火災・感電の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品の分解・改造をした状態にあると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。  
 ●内部に異物を入れないこと。金庫類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。  
 ●物を乗せると故障の原因となります。  
 ●本機は、振動の無い場所で固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。  
 ●閉切った自動車内・ストローなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。  
 ●本製品を作動させながら移動・持ち運びをしないでください。故障・火災・感電の原因となります。

#### 設置するとき

●注意  
 ●湿度の高い場所に置かないこと。直射日光の当たる場所・開け切った自動車内・ストローのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。  
 ●煙気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。  
 ●移動させる場合は、本機の接続を全て外していただき、接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となる場合があります。

#### ACTA747-1について

●ACTA747-1の電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。  
 ●ACTA747-1を分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。  
 ●ACTA747-1の電源コネクタは、備つけた後、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。  
 ●ACTA747-1の電源コネクタは、無理に曲げたり、ねじり、重いものを乗せたり、挿入し、抜き、こみやほこりを取り取つてください。電源コネクタの電源プラグの向きや、刃の取り付け面にこみやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、こみやほこりを取り除きます。  
 ●ACTA747-1の電源プラグを電源コネクタから抜き、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。  
 ●ACTA747-1は指定された充電方法以外で充電しないでください。破損・発火の原因となります。  
 ●ACTA747-1は本機以外の用途に使用しないでください。  
 ●ACTA747-1の電源はコンセントの奥まで差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。  
 ●長期間で使用にならない場合は、必ずACTA747-1の電源プラグをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。

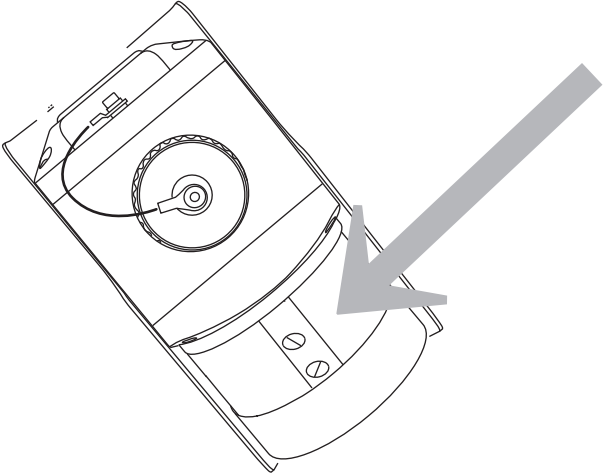
#### 1バッテリーについて

指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破損・発火の原因となります。  
 ●バッテリーパックを加熱・分解・ショートをしたり、火の中へ投入しないでください。破損・発火の原因となります。  
 ●バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かないでください。電極（+端子と-端子）に接触すると、ショート・破裂・発火の原因となります。  
 ●バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。  
 ●バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破損・発火の原因となります。

#### 免責事項について

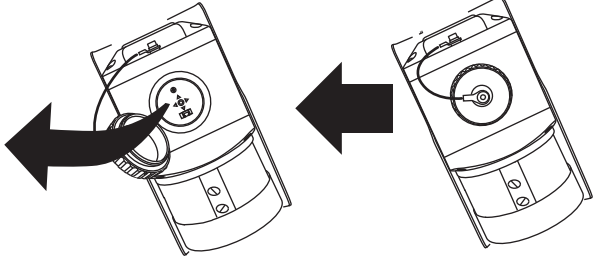
●地震や雪などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下の使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。  
 ●本製品の使用または使用不能から生ずる随時的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。  
 ●取扱説明書の記載内容を守らないことによる生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。  
 ●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる動作不具合から生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。  
 ●本製品の誤動作・故障により発生した事故・トラブルに関し弊社及び販売店は一切の責任を負いかねます。

### 1バッテリーの調整



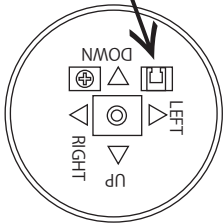
●本底面に、調整ネジがつけられていますので、  
 ●マイナスドライバーなどで調整を行ってください。  
 ●F.N: レベル調整 (レベル調整)  
 ●T.W: スピーク調整 (音台側)

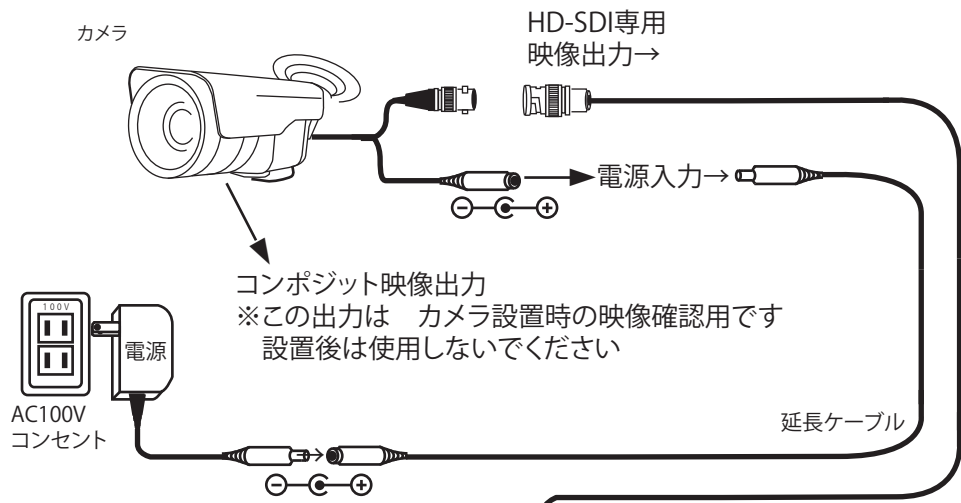
### ボタン



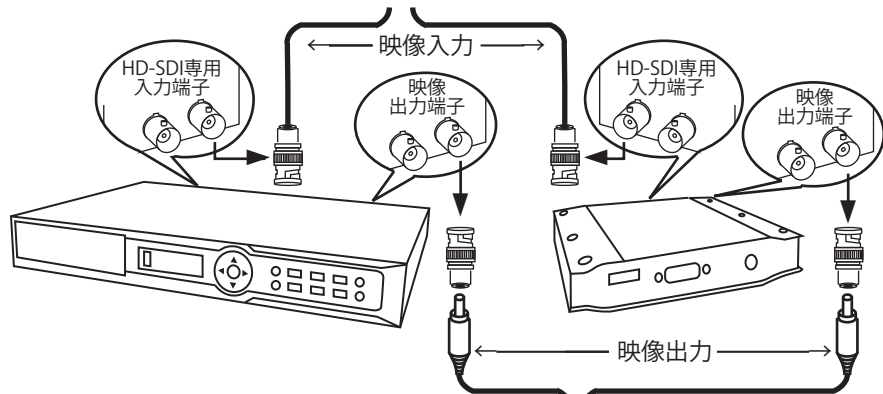
●SETUP: 押すとメニュー表示されます。  
 ●UP: 上移動ボタン  
 ●RIGHT: 数値・設定変更右移動ボタン  
 ●LEFT: 数値・設定変更左移動ボタン  
 ●DOWN: 下移動ボタン

映像確認用コネクタケーブル差し込み口  
 カメラ設置時に映像確認用のケーブルを差し込み使用してください  
 カメラ設置後は必ず取り外してください

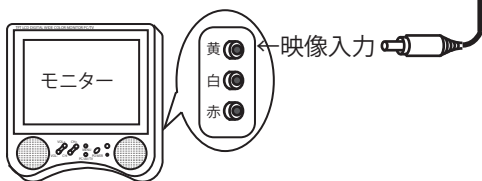




<注意>  
HD-SDI対応の【DVR】もしくは【コンバーター】の  
どちらかに接続してください。



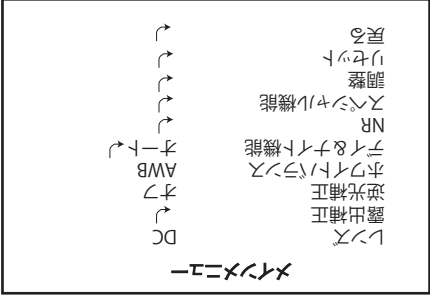
<注意>  
この接続図は、一般的な例の1つです。  
接続するカメラ・モニター・システムなどによっては大きく変化します。



安全上のご注意	
目次	P2
LED動作	P2
メニュー設定	P3
接続図	P5
バリフォーカルの調整	P6
ボタン	P6

赤外線 LED の中に CDS センサー (明暗センサー) があります  
そのセンサーが暗いと検知すると LED が点灯します

SETUPを押すと下記のメニューが表示されます  
本製品の各設定は、下記のメニュー画面で設定して下さい



レンズ  
本製品はDCに設定されています。

露出補正  
「露出補正」選択中にSETUPを押すと、下記の内容が設定可能になります

シャッタースピード：シャッタースピードの調整ができます

AGC：ゲインの調整ができます

明るさ：明るさの調整ができます

SENS-UP：高感度モードが使用できます

D-WDR：ワイドダイナミックレンジ(逆光補正)が使用できます

DEFOG：霧のノイズを軽減する機能です

逆光補正  
BLC/HSBLCの切り替えができます

ホワイトバランス  
ホワイトバランスの調整  
本製品はAWBに設定されています

フライナイト機能  
フライナイト機能 カラー/白黒/オート/オート(外部)  
カラー固定や白黒固定をしたい場合は 変更して下さい  
通常は オートで使用して下さい

NR  
デジタルノイズ除去 暗い時の映像ノイズを除去します

スピシャル機能  
カメラタイトル：カメラ名が設定できます

D-EFFECT：画像エフェクト機能の設定

動き検知：設定した範囲に動きがあれば画面上で表示します

フラインビナー：フラインビナーゾーンが設定できます

言語選択：JPN 日本語に設定されています

欠陥画素補正：ドット落ちの処理ができます

RS485：本製品では使用しません

パージョン：カメラのソフトウェアバージョンです

調整

シャープネス：シャープネス設定ができます

モニター：出力するモニターの種類によって変更できます

レンズシェアー：レンズ補正：明暗のコントラストの調整ができます

VIDEO.OUT：確認用アナログ出力

NTSCとPALが選択できます NTSCで使用して下さい

曇り除去：画面に曇りが生じた場合に除去します

リセット

リセット：決定ボタンを押すと設定がリセットされます

戻る

メニューを消して通常画面に戻ります